

正しく学んで、楽しく登ろう！ 好日山荘登山学校
加藤校長と歩く！雪山と雪上講習
初・中級者向き

北ハケ岳・天狗岳 (2,646M) 登頂2日間 ～アイゼン・ピッケルを駆使して登るハケ岳の入門コース～

旅行期間：2019年2月8日(水)～2月9日(木) 2日間

旅行代金：49,800円 (渋の湯バス停集合、解散)

募集人数：10名様 (最少催行人数4名様)

(受講料に含まれるもの / 山小屋1泊,夕食1・朝食1,ガイド料)

同行ガイド：加藤智二 (公益社団法人日本山岳ガイド協会認定ガイド) 090-7364-4252

宿泊：黒百合ヒュッテ

集合：渋の湯バス停 11:30

解散：渋の湯バス停 13:00頃

	月日	日程	食事
1	2/8 (水)	1日目：渋の湯バス停⇒(徒歩)⇒黒百合ヒュッテ：到着後、小屋周辺にて雪上歩行講習(山小屋泊)	各自 夕食
2	2/9 (木)	2日目：黒百合ヒュッテ⇒(徒歩)⇒東天狗岳⇒(徒歩)⇒西天狗岳⇒(徒歩)⇒黒百合ヒュッテ⇒(徒歩)⇒渋の湯バス停(解散)	朝食 各自

日程：歩行時間/1日目：約3時間、2日目：約6時間



《ツアーのポイント》

- ★担当は加藤ガイドです。
- ★初めての雪山チャレンジの方にも安心。
- ★事前の装備ご相談、山中での技術アドバイスも行いますので安心です。
- ★寒さ厳しい時期の山岳地帯です。手袋・登山靴をはじめ厳冬期用の装備のご準備が必要です。
- ★お申込みお電話・メールはオン・ジ・アースへ。指定された期日までのお振込みでお申込み完了です。
- ★お申込み後の登山内容へのご相談ご質問は加藤ガイド (tomotrek@gmail.com) へ。

企画・募集 株式会社オン・ジ・アース

277-0005 千葉県柏市柏3-5-13 千葉県知事登録旅行業第2-998号

紫屋ビル408号 TEL: 04-7170-4261 FAX: 04-7170-4262 メール info@ontheearth.co.jp

登山靴

マウンテン ウィンターの一例

冬山装備で最も重要なのは登山靴です。冬山用登山靴はアイゼンを着用するためソールが硬く、防水性があり、インナーには保温性を重視した素材を使用した防寒性の高い、厳冬期登山に対応したものをお選びください。ワンタッチ式やセミワンタッチ式アイゼンが使える、かかとにコバのあるブーツとなります。保温性能の高いマウンテンブーツでしたら、良質なソックスは1枚で十分です。ソックスの2枚重ねはタイトになり、かえって血行を悪くし指先が冷たくなることがあります。

[スポルティバ ネパール EVO GTX](#)



ヘルメット

岩場が連続する登山道では自身の転倒、滑落、落石から頭部を守ります。残雪期や冬期氷化した斜面があるルートでも必要です。最近のモデルはカラフルな色使い、女性用など軽量化も進み標準装備に近い位置付けとなっています。

[マムート ウォールライダー](#)



ピッケル

オールマイティな一般縦走用タイプ



ピッケルは主に雪上歩行の際のバランスの保持、転倒の際のスリップ防止に使用する道具です。森林限界を超え、転倒滑落の危険が高い雪山の杖としても使います。森林地帯の雪上歩行ではトレッキングポールを利用することもあります。初めて購入する一本目は縦走など一般的な使用を目的とした汎用性の高いピッケルをお勧めします。長さはシャフトの最上部を正しく握った状態で、スパイク（一番下の部分）が踝（くるぶし）の位置にくるくらいです。平均的には身長110cm程度、60 cmから 65 cmの長さが使い易いでしょう。ストレートシャフトと緩やかにカーブしたベントシャフトがあります。

[グリベル エアーテック エヴォリューション GB 58cm 66cm](#)

急な雪壁や氷化した斜面用タイプ

急な雪壁や氷化した斜面が出てくる登山ルートの場合はピックを多用するため、短め（50 cm～55 cm）のベントシャフトタイプを選ぶと良いでしょう。



ペッツル サミテックアッズ 59cm
カシン X ライトアッズ 50cm

ピッケルバンド（リーシュ）



ピッケルを落とさないためにも必ず付けて下さい。ピッケルバンドには手首（リスト）に掛ける短いものと、肩からたすきのように掛ける長いものがあります。ピッケルは原則的に「山側」の手で持つものなので、登山中頻繁に左右に持ち替えます。縦走などを主体とした登山の場合は、肩掛タイプをお薦めします。硬い雪や氷の急斜面にピッケルを刺して登る場合は、シャフトをグリップし易いリストタイプが有効です。リストタイプのものは、60 cmのスリングを たすき掛け にしてカラビナで留めれば、肩掛タイプにもなります（※ピッケルを持った手が真っ直ぐ伸びるだけの長さが必要です）。

ペッツル リンキン

[グリベル スプリングリーシュベルト](#)

アイゼン

傾斜のある雪面や氷化が出てくる雪山ではアイゼンは10本爪以上（できるだけ12本爪）が基本です。前後の長さが調節できる機能がついたもの、雪が付着しにくいアンチスノープレートがついたものをお薦めします。

●アイゼンは靴との相性があります。アイゼンを装着した際に、できるだけ靴底やつま先に隙間ができないものをお選び下さい。靴底の剛性が弱い歩行重視のハイキング用には装着することはできません。

●**軽アイゼン「6本爪アイゼン」は低山における登山道上に雪や氷用の滑り止め用**です。

爪は鋭くなく堅く氷化した雪面には刺さりません。また爪は短く腐った雪やザラメ雪では十分なグリップを得ることができません。ソール前後に爪がありませんので、急斜面や氷を付けた岩場に対応できません。

冬の八ヶ岳の初心者コース以上ではお薦めできません。また、アルミアイゼンは強度が弱くお薦めできません。

●登山前には、必ずサイズ調整を行い、バンドの長さは装着状態の時、留め金具から15cm程度を残し切って調整しておきます。

●冬期低温環境での指先の凍傷予防のため、アイゼンの着脱は必ずグローブを付けて行います。慣れていない方は登山前に練習をしておいて下さい。

ワンタッチ式（フロントはワイヤー固定、リアはバックル式ビンディング）

着脱も素早く、靴とアイゼンの一体感が最も高いので、シビアな雪山登山に適します。ブーツとの相性によっては、つま先とワイヤー部分に隙間ができて外れ易くなる場合があるので、ご自身のブーツと合うかどうか確認して下さい。また、かかと と つま先にコバが無いブーツやソール剛性の低いモデルのブーツには使用できません。



[グリベル G12 オーマチック SP](#)



[グリベル エアーテック オーマチック SP](#)

セミワンタッチ式（フロントは樹脂やプラスチック製ビンディング、リアはバックル式ビンディング）

つま先部分の樹脂やプラスチック製ビンディングと後ろのバックル式ビンディングで素早く装着できます。踵（ヒール）にコバの付いたスリーシーズン用のマウンテン ハードソールタイプから冬山用登山靴まで幅広く対応するオーソドックスなタイプとなります。



グリベル エアーテック ニューマチック

グリベル G12 ニューマチック

固定バンド式（フロント、リアともに樹脂やプラスチック製ビンディング）があります。

前後を樹脂やプラスチック製ビンディングとバンドで固定するので、アイゼンの着脱には少々時間がかかりますが、ほとんどのブーツに対応することができます。ただし、ブーツとアイゼンの一体感に弱く、前爪を積極的に使うルートには相応しくありません。



グリベル ニュークラシック